

多摩川衛生組合インシデント等報告書(平成28年11月15日から平成29年2月14日まで)

	事故発生日	発生場所	事故内容	対応・処理・結果
1	平成28年 12月24日	ごみ焼却炉 1号炉・3号 炉	1号炉及び3号炉排ガスCO濃度が、廃棄物処理法で定める維持管理基準を超えた。12月27日に多摩環境事務所へ速報として報告、後日再発防止を提出する。	発熱量の高いごみが多く投入されたことにより通常より炉内温度が上昇した結果、ストーカが止まり、燃焼しきってしまい、新たなごみが通常より多く送り込まれ、燃焼状態が悪化したことが原因と考えられる。
2	平成29年 1月9日	可燃ごみ ピットの不 燃・粗大ご み破碎可燃 物落ち口付 近	1月9日、午後2時10分、ごみピット内で火災発生。	午後2時40分鎮火確認。不燃・粗大ごみの破碎可燃物から何らかの発火物が可燃ごみピットに移送されたことが、原因と考えられる。稲城市及び狛江市に対し、危険物混入防止の徹底を依頼する。